



平成 28 年 1 月 5 日

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号  
会 社 名 株式会社スリー・ディー・マトリックス  
代 表 者 名 代表取締役社長 高村 健太郎  
(コード番号: 7777)  
問 合 せ 先 取 締 役 新 井 友 行  
電 話 番 号 03 (3511)3440

**当社が独占実施権の許諾を受けている「3次元細胞培養」に関する  
MIT によるカナダでの特許取得のお知らせ**

当社は米国マサチューセッツ工科大学（以下、MIT）より自己組織化ペプチド技術に関する特許群の独占実施権の許諾を受けており、当社が開発・製品化を進めている骨・軟骨再生や皮膚再生分野に関連する特許について、許諾元である MIT の特許出願が、カナダにて特許査定を受け成立いたしましたのでお知らせいたします。

- 【発明の名称】 ペプチド足場での組織細胞のカプセル化およびその使用  
【特許番号】 第 2344954 号  
【特許権者】 Massachusetts Institute of Technology

本特許は、各種細胞および化学誘引物質等を組み込んだ（カプセル化）自己組織化ペプチドから形成される 3 次元の足場環境とその形成方法に関する特許で、適用される細胞として軟骨細胞、線維芽細胞、ニューロン細胞、表皮細胞、内皮細胞、膵臓細胞、肝臓細胞、骨髄細胞、ES 細胞ほか、多岐に亘るものになります。また、組織再生への応用として軟骨の欠損、表皮の内層欠損、内皮の内層欠損、関節炎、結合組織（靭帯および腱等）の欠損、神経組織の欠損等への処置または予防への適用について示されております。

当社は米国にて販売承認取得済みの創傷治癒材（TDM-511）、米国にて臨床試験中の歯槽骨再建材（TDM-711）に関して、来期以降での販売提携やライセンスアウトに向けて取り組んでおりますが、この度の MIT による 3 次元の足場環境とその組織再生への応用に関する特許取得は日米欧 3 極に続く特許成立であり、適用される細胞も広くカバーされていることからライセンスが補強されます。また当社グループの自己組織化ペプチドに関する特許群もより強固なものとなり、今後の北米を中心とした提携・ライセンスアウト等に寄与していくものです。

また、臨床応用に向けて東京大学 COI 拠点プロジェクト（高戸 毅 東京大学大学院医学系研究科教授等との共同研究）で進めている骨・軟骨組織再生材といった将来のパイプライン候補の開発エリア等で幅広く権利保護することが期待されます。

なお、現段階においては本件による通期の業績への影響はありませんが、来期以降の共同研究や知的財産の価値向上に寄与していくものと考えております。

以 上